

住民懇談会を開催しました

～皆さんと共に考える町づくり～



総合政策課 企画政策係 ☎(232)2112

防災センターで行われた菊陽中部小学校区の住民懇談会

日程	校区(会場)
12/14	菊陽中部小学校区 (防災センター)
15	菊陽西小学校区 (三里木町民センター)
16	菊陽南小学校区 (南部町民センター)
20	菊陽北小学校区 (ふれあいの森 研修センター)
21	武蔵ヶ丘北小学校区 (西部町民センター)
22	武蔵ヶ丘小学校区 (光の森町民センター)

住民懇談会の概要

住民懇談会は、令和3年12月14日から22日にかけて、6つの小学校区ごとに、各町民センターなどで開催し、延べ132人の町民の皆さんにご参加いただきました。

今回の住民懇談会は、令和3年3月に策定した「第6期総合計画」(計画期間：令和3～12年度・10年間)の内容を町民の皆さんに説明し、今後のまちづくりに向けて、皆さんのご意見を伺うために実施したものです。

住民懇談会では、初めに町長がTSMC(台湾積体回路製造)の進出をはじめ、防災センターの完成やこども総合相談室の開設など、最近の町の取組状況を説明しました。また、建設工事中の総合体育館や菊陽空港線の延伸などについても進捗よく状況を報告しました。

その後、担当課が第6期総合計画の概要を説明した後、参加者の皆さんと意見交換を行いました。

町民の皆さんからのご意見

各校区の懇談会でいただいたご意見の一部を紹介します。懇談会の概要は、町ホームページでお知らせする予定です。

- 今でも朝夕の渋滞がひどい。大企業TSMCの進出は町の発展につながり嬉しいことだが、町内の渋滞が更にひどくなるのではないかと心配している。
- 通学路でも交通量が多く、スピードを出す車が多い。通学時の小中学生の安全を十分に確保してほしい。
- 防災広場や防災センターが完成し、新たに防災体育館も整備中でハード面の強化は進んでいるが、今後は防災訓練などソフト面の対策も充実させてほしい。
- 女性があらゆる機会に活躍できるように男女共同参画に力を入れてほしい。まずは、女性の管理職を増やすなど役場が率先して取り組んでほしい。
- 町の西部では、住宅状況の変化に伴い人口が増加するエリアが変化しているので、児童数を考慮し、地区の意向を確認の上、小学校区の見直しを検討してほしい。
- 空港アクセス鉄道は、県が三里木駅、原水駅、肥後大津駅の3ルートを再調査するようだが、三里木ルートを期待している。

皆さんのご意見をまちづくりに生かしていきます!

今回、各校区の懇談会でいただいたご意見につきましては、町内の渋滞状況調査の実施や次回の通学路点検への反映など、取り組めるものから早速対応を進めています。その他のご意見につきましても、今後の施策の推進にしっかりと生かしていきたいと考えています。

皆さんの声を聞きながら、より良いまちづくりを進めていきますので、今後も、多くの町民の皆さんによるまちづくりへの参画とご協力をお願いします。

総合計画(概要版)の配布

住民懇談会でも使用した「第6期菊陽町総合計画(概要版)」の冊子を配布します。希望する人は、役場総合政策課までお問い合わせください。



総合計画は町ホームページにも掲載しています。町ホームページ

日本経済の安全保障を担う

～TSMCの進出と伸びる菊陽～

商工振興課 ☎(232)2165

TSMCとソニーグループの工場建設に関連する出来事をお知らせします

- 1 造成が進む、JASMへの譲渡が決まった第二原水工業団地(赤枠内が今回譲渡する区域)
- 2 現地視察の際に、後藤町長の説明を受ける萩生田大臣
- 3 新たに設置した推進本部、プロジェクトチーム合同会議の様子



第二原水工業団地の土地譲渡契約を締結

12月27日に開催した臨時議会で、TSMCとソニーグループが共同で設立したJapan Advanced Semiconductor Manufacturing(JASM)への第二原水工業団地の土地譲渡が可決されました。今回の譲渡面積は約21・3haで、譲渡価格は17億3千万円です。現在、土地の造成工事が進められており、今年から工場の建設工事が開始される予定で、令和6年中の生産開始が目標とされています。

後藤町長コメント

これまでの町の取組が、半導体の国内生産という、国の経済安全保障や産業競争力の向上に、大きな役割を果たすこととなり、大変光栄に思います。

今までに経験した事のない規模の事業になりますので、庁内横断組織を中心に、工場建設の支援や、受入体制を全庁的に対応します。



JASM受入れのための庁内横断組織を設置

JASMの工場建設を全庁的に支援・対応するため、11月22日に菊陽町半導体産業企業誘致推進本部と、菊陽町半導体産業企業誘致推進プロジェクトチームを設置しました。今回設置した推進本部とプロジェクトチームは、工場建設の支援、交通渋滞や住環境の整備、教育などの課題の検討・対応を進めます。

萩生田経産相が第二原水工業団地を視察

11月24日、萩生田光一(はぎうだこういち)経済産業大臣が、JASMの工場が建設される第二原水工業団地を視察しました。同日、萩生田大臣は、蒲島県知事や後藤町長との面談や、視察後の九州の半導体企業関係者らと意見交換により、人材不足などの課題を共有。萩生田大臣は人材育成のために九州地区の大学などと連携して半導体産業に関するカリキュラムの開発を検討する意向を示しました。その後、報道機関の取材に「TSMCが日本に根付き、地域とともに歩んでいくよう、県や町と密接に連携してサポートしていきたい」と話しました。